



阪急交通社労組 労働協約改定交渉 FAX 速報

職場回覧

2025年11月21日 FAX速報 No. 3 http://www.heiu.net

収拾に向けて交渉継続中

11月4日より開始した労働協約改定交渉では、要求内容実現へ向け、断続的に事務交渉を行っています。交渉内容は多岐にわたっていますが、これまでの交渉内容の要点をお知らせします。

<海外普通出張・添乗出張 食事料の改定について>

会社は、物価上昇や円安の影響を踏まえた改定の必要性に一定の理解を示し、具体的な改定金額について協議を行っています。

くその他の出張 旅費の改定について>

会社は、出張時の負担の観点から、一定の理解を示しています。

く役職手当の改定について>

会社は、物価上昇による貨幣価値下落の観点から支給額の見直しの必要性に一定の理解を示し、具体的な改定金額について協議を行っています。

<借上社宅の選定基準・家賃負担額の改定について>

会社は、転勤時の組合員の負担軽減となる家賃負担額について、改定の必要性に一定の理解を示し、具体的な改定金額について協議を行っています。

<通勤手当の改定について>

会社は、要求の趣旨に一定の理解を示しているものの、金額設定当時の状況と比較しても遜色なく別の課題があるとし、協議を行っています。

<休日、特定休暇の改定について>

会社は、コロナ禍における緊急的な措置の内容を本来あるべき姿に戻す必要性に一定の理解を示していますが、想定される問題点について協議を行っています。

く生理日の就業が著しく困難な女性に対する措置の改定について>

会社は、要求の趣旨に一定の理解を示しているものの、運用面での課題点や想定される問題点が残っているとして、名称の変更を前提に具体的な取得事由について協議を行っています。

<短期介護休暇の取扱の改定について(アシスタントスタッフ)>

会社は、同一労働同一賃金の観点から、一定の理解を示していますが、 運用面での課題点や想定される問題点が残っているとして協議を行っ ています。

く年休の取得単位の改定について(アシスタントスタッフ)>

会社は、組合員の利便性やワークライフバランス等の観点から、組合要求の趣旨に理解を示すものの、運用面での課題点や想定される問題点が残っているとして、難色を示しています。

<有給休暇の要求について(アシスタントスタッフ)>

会社は、同一労働同一賃金の観点から、一定の理解を示していますが、 運用面での課題点や想定される問題点が残っているとして協議を行っ ています。

<所定労働時間の短縮の要求について>

会社は、要求の趣旨に一定の理解を示しているものの、時間外労働削減の面で課題が残っているとして、難色を示しています。

以上、労使の主張には隔たりが残っていますが、組合要求の実現を訴え、交渉にあたっています。職場の皆さんには、引き続き力強いご支援をお願いします。

| 宣覧印 | | | | | |
|-----|--|--|--|--|--|
| | | | | | |